

令和3年度教育目標 「元気に遊ぶ子」に対する学校評価書

令和4年3月31日
学校法人 みどり認定こども園

	目指す姿	具体的なあらわれ	保護者 (5.4 点合計%)			保育教諭 ABC	自己評価から
			赤	青	黄		
元気に遊ぶ子	自分で考え、のびのび表現できる子	自信を持って表現	94	88	84	A	『人の話を聞く』は活動の中で大切にし、努力してきました。聞けるようにポイントを掴み手短かに！また、耳を傾けられない場合や注意集中できない子には視覚を利用して伝えている。 言葉で自己表現できるように、“待つ”ということにより一人に対応していく。
		人の話を聞ける	66	86	77	B	
		自分の思いを言葉で伝える	84	80	69	B	
	誰とでも遊び、思いやりのある子	明るく表情豊かである	96	98	98	A	職員目標(方針)を『明日が待たれるこども園』とし、とにかく時間を忘れて夢中で遊ぶ姿を大切にする環境作りに心がけています。友だちとの遊びが十分満たされると、表情も豊かになり関わりを学んでいきます。目標を大切に思いやりの気持ちを育てています。
		友だちと仲良くできる		86	89	A	
		人の気持ちを考える	74	81	83	A	
	夢中になり力いっぱいがんばる子	思い切り身体を動かして遊ぶ	96	96	98	A	園の教育目標に沿って『思い切り身体を動かして遊ぶ』ことは厭わない、とても元気だ！と保護者に評価して頂きました。自分の興味のない事でも年齢が上がるごとにやり通そうという意気込みが見られます。 また、興味があれば自分から積極的に取り組もうとしていく様子が見られます。
		やり通そうとする		84	89	B	
		自分から取り組む	74	81	90	A	
	良い生活習慣を身につける子	あいさつができる	68	80	75	B	園活動でも興味や関心が持続できるような保育計画を工夫しています。 この項目につきましては毎年、保護者アンケート結果が気になっています。『物を大切にする・片付けができる』ご家庭での評価に迷っていたのか又、今後園でももう少し進んで取り組めるように工夫が必要です。
		物を大切にする 片付けが出来る	66	72	65	B	
		約束やルールを守る	72	87	90	A	

令和4年度、さらに教育活動を進め、保護者連携を深めていく目標

◇ 物を大切にする・片付けができる

今年度も保護者アンケートの評価をみると、5段階評価にバラつきがあり心配する項目です。検討会で行い手立てを検討合いました。

- ・写真を利用し視覚で片付ける場所を示すことでわかりやすくする
- ・繰り返し『物も人と同じで心があるんだ』ということを伝えていく
- ・保育教諭が手本を示し、物を大切に扱ったり身の回りの整理整頓をすることを示し知らせる
- ・子どもの発達に合わせて玩具の量を考え適量にしていく
- ・「片付けましょう」×「元の位置に戻しましょう」○ 一緒に言葉をかけながら繰り返す

◎『整理、整頓はやってみたい！という意欲を高める基本の環境です。』部屋の環境を示した著書(秋田 喜代美)

『片付けて気持ちをリセットさせて次の活動への興味を探る』の繰り返しをしていってほしいと思います。

片付けという作業は、各家庭でも評価はしにくい項目になっているのを感じました。今日は“スムーズに片付けられた”と思ってもその一工夫は明日に繋がっていないことがあります。こども園生活でもクラスで色々試しながら成長に合わせる言葉がけを工夫していきます。来年度も保護者連携の中に物の片付けの評価を考えて進めていけるように努力していきます。

令和4年3月31日

令和3年度 教育活動に対する学校評価

学校法人 島田中央学園 みどり認定こども園
園長 今村はる代

1・みどり認定こども園の教育目標

元気に遊ぶ子

職員目標

『明日が待たれるこども園』

【知】自分で考え、のびのび表現出来る子

【情】多くの友だちと関わりながら遊び、温かみのある子

【意・体】夢中になり力いっぱいがんばる子

【躰】良い生活習慣を身につけている子

	評価項目	自己評価	考察	関係者 評価
1	教育目標『元気に遊ぶ子』にそって計画的に教育活動を展開している	A	学年ごとの項目に添って達成度を調べました。コロナ禍でも『遊ぶ』というこどもの生活全般を受け入れ、歳児の成長を確認しながら関わりや、集団生活に向う活動を繋げたことが好評価になりました。	A
2	こども園の行事は年齢に応じた温かな体験を計画している。	B	子どもたちの発達を確認しながら、年間計画に行事が入り生活体験を重ねます。長い教育計画の中に縦割り活動、集団活動が入っています。活動を見守り、憧れに繋がるよう温かい保育計画をしてきました。	A
3	乳幼児の発達を踏まえ一人ひとりの興味関心を探り、子ども達の持っている力や姿を大切にしている	B	環境や興味を広げる遊びを展開できるように努力した。保育教諭も歳児の発達を捉え子どもと向き合っています。 0歳児から5歳児の興味関心を職員会議で伝えあい課題として活動計画を考えている。	A
4	一人ひとりの個性を大切に意欲や自信を持たせている。	A	個々への対応として保育記録にエピソードとして記入し、一人ひとりの思いを表現として受け止めるよう努力している。お互いの記録を通して学ぶ機会とし、褒め、認めていくことが自信へと繋がることを共有する。	A
5	集団生活に必要なきまりや、約束の大切さを指導している。	A	「友だちと一緒に楽しい」という体験の積み重ねが生活の中では大切です。集団生活を過ごし、楽しく生活するには、時には我慢しなければならないことや約束やきまりがある事を年齢で指導をしています。	A

6	子どもの育ちを保護者と共有しようと心がけ、家庭での状況を考慮しながら子ども理解に努めている。	A	保護者意見には丁寧に対応している。家庭での状況をしっかり受け止め、こども園で友だちと過ごす様子を伝えあい早めにお互いの状況を理解し、一人ひとりに配慮する。	A
7	計画的に避難訓練、安全点検を行い園児の安心、安全に努めている。	B	避難訓練計画のなかに消火訓練は毎月行うよう計画していきます。 『放送に耳を傾けること』、『自分で考えて自分の身を守ること』が意識出来るよう繰り返しの訓練をしている。	A
8	室内環境、衛生面の維持や、体調管理に努め定期的な健康診断を行い子どもの『健康』に配慮している。	A	コロナ感染が心配されています。施設内の衛生環境に配慮し、今まで通りの感染対策を保護者をお願いしている。 健康診断では、身体と共に心の面などの相談まで園医と連携をとっている。	A
9	一人ひとりの人格を尊重し、自己肯定感を育む教育保育に取り組んでいる。	A	クラスで『良い所探し』などの活動を通して自分の良さに気づかせていく。『行為の価値づけ』をしてやることで、自信や自己肯定感を持つことに繋がっている。	A
10	こども園は子どもたちに【明日が待たれるこども園】となっている。(明日遊ぼう！友だち先生と過ごせることを他にしみにしている)	A	「明日も友だちと遊びたい」「こども園に行くのが楽しみ」という明日を心待ちにする環境や教育保育に心がけたい。 保育教諭全体が他クラスの子どものことを知っている強みを生かして担任でなくても積極的な関わりをしていく。	A

【保護者連携】

令和3年度も保護者連携という手立て、方法を考えてブログアップ回数の努力もしてきましたが、保護者も活動への参加に制限があり、気軽に園内での子どもの頑張りを応援出来なかったことで満足度が低かった。

保護者が、子どもが園の中でどんな活動に興味を持って生活しているのか色々な配信を考えてほしいという要望がたくさん聞かれました。

現況

◎進んで挨拶をする子が増えている。

◎園目標『明日が待たれるこども園』という職員目標は高い評価をいただきました。

課題

★ホームページの配信を工夫する。クラス単位での配信にも心掛ける。

★保育教諭の書く保育記録の工夫（エピソード記録）保育記録を通して保護者との連携を深める。

★園日より、クラスだよりでの発信（ドキュメンテーション利用の発信）